

ともろう通信



NO.17

2016年4月発行

ともろう
共朗生 — 共に朗らかに生きていきたい!

★ともろう通信は、NPO 法人男女共同参画こしがやともろうの機関誌です。

事業：①男女共同参画関係施設受託事業②男女共同参画の推進を担う人材養成事業
③情報提供、調査研究事業④自立支援・相談事業⑤子どものための自立支援事業

つなぐ思い

私たち、「NPO 法人男女共同参画こしがやともろう」が、越谷市男女共同参画支援センターの指定管理者として施設の管理運営に携わって8回目の春を迎えました。

会員の皆様には、あたたかいご支援をいただき、感謝申し上げます。

ほっと越谷の職員もほぼ同じ顔ぶれで28年度をスタートしました。個性派ぞろいですが、チームワークを大切にしながら仕事を重ねていきたいと思えます。

さて、つい最近話題になった「保育所落ちたのは私だ」に端を発した、保育所の問題。

「保育所落ちたのは私だ」のプレートを掲げた多くの女性が同じ思いを静かにつなげた行動はとても印象的でした。保育所待機児童問題は厳しさを増すばかりで、もはや、避けられない現実です。待機児童問題は、働き続けたい女性の就労を困難にしている保育所不足だけではなく、保育士不足もあります。有資格者が仕事を継続しないのは、保育士さんの労働環境の厳しさと賃金の低さが挙げられています。保育所は女性が多く就労する場です。先日、やっと保育士さんの待遇改善に向けた動きがでてきました。根本的解決にはほど遠い内容ですが、子を持つ親同士のつないだ思いがほんの少しこの問題解決を前進させた結果となりました。

私達も皆さんとともに少しずつでも一人ひとりを大切にする社会をめざして、「ほっと越谷」の事業と「こしがやともろう」の活動にまい進していきます。

先日、ある店で買い物をして、領収証の宛名を「越谷市男女共同参画支援センターにしてください。」と説明していたら、お客さんで来ていた男性から「ほっと越谷かい？時々行っているよ。」と話しかけられ、思わずうれしくなりました。

今年度も、どうぞよろしくお願いたします。

認定 NPO 法人男女共同参画こしがやともろう

荒井ひとみ